## 令和7年度 調布市立神代中学校 授業改善推進プラン

## 学校の教育目標

一、自ら学び、考える人 一、礼節を重んじ、思いやりのある人 一、心身ともに健康な人

## 目指す学校像(ビジョン) 例)学校像,教員像,児童・生徒像

「だれもが自分のことも,他の人のことも大切にする学校」「不易流行で進化する学校」

ビジョンの 設定理由 (本校の現状 と課題)

本校は都内有数の大規模校であり、市内で最も歴史のある中学校である。大規模校であるが故に、個が埋没してしまうことがないよう、一人ひとりを尊重する人権感覚・人権意識が求められる。また、歴史のある学校だからこそ、伝統をただ単に継承していくのではなく、伝統を重んじながらも状況に適応し、変化することでさらなる進化を遂げることが重要である。教育活動を多面的・多角的に捉え、不易流行の精神を以て、「より良い変化」に、果敢にチャレンジしていくことが求められる。

製料 目指す学校像 (ビジョン) を基にした 育成したい資質・能力	CDRAZI		
関語を上回っているがその中で記述の問題にや や選動が残るため、論彙を与に付け、自分の考え を表現するのとを扱い。 を表現するのとを参う。  ま作の・対話的で深い学びの実現を目指した 投業改善を通し、社会的な見方・考え方を育 る。 理科  関の学力調査では、思考・判断・表現に関する 問題の正答率が他の項目に比べて低いことを踏 まえて、ままりを見付け、見出したきまりを、概 を会せっして説明できるようなのを養う に付ける。  理科  「自然事物・現象に対する母珠間のと高め、基 機のな学力の定着を目指す。また、実験・観察を 行い、その結果を分析に解釈し表現で含め力を会 に付ける。  書家や特徴を上体的に捉え、合唱や鑑賞等 表現につなげる力を養う。 ・ 生物・対象と上がおに捉え、合唱や鑑賞等 表現につなげる力を養う。特に取唱活動においてより良い作品を作りてきるような力を会 に付ける。  重節や表現意図を明確にし、自分の表現に対 本となる音楽の対し、解釈、直対のものながいた。高水の対象をする。となら音楽の対し、解釈に対する名家を例が、表現力等を育む。 を生かったまたりに捉え、合唱や鑑賞等 表現につなげる力を養う。特に取唱活動においてより良い作品を作りに可心をある。とはたさとで思考が、判断が、表現力等を育む。 を表でもるとで思考が、判断が、表現力等を育む。 を表でもるとで思考が、判断が、表現力等を育む。 を表でもるとで思考が、対象とせるとで思考が、判断が、表現力等を育む。 を表しておりまりに対しる。 本となる音楽の諸要素と表現活動のつながりに「気付く力」を育成する。そで、学人だことを歌雪・器楽に生かし、更に音楽への興味を深めさせる。  基理や表現意図を明確にし、自分の表現に対 する考えを説明したりできるようにする。自他の作 品のよさを感見し取り、説明したりできるようにする。 を表現が動か変変を関す、一般を検索とない、表現が認めで誘題や対力な練聞方法の選び方にいて指摘としていて力を養う。 集団で行う運動を選して、規範意識と協調性を身に付けさせる。 よりよい生活の実現や特殊できるようにする。表現、生物に実に多様の主動と環境に、かいた影ができるようにいて指摘としていてのたる。また、特価に対して技術的な話題や方面を疑りないまして表現を検討を確していて、表表の表の表現を表して、習得したか選、技能が生活の自立でいるることに気付かせる学習を表して、選手の単均点よりも上を目指して3年間通して準備していて、3年次のESAT-1」は都の平均点よりも上を目指して3年間通して準備していて、3年次のESAT-1」は一般を表えまれく表記を通して、2年間通して準備していて、3年次のESAT-1」は一般の手切点に対してコーマンステストを集まる。と作けけさせるととも、未来の数言目標に、一般の表えを表現する機をないて、一般の表えを表現する機をないの方を含える。これ、表の表語ので最近で表していて、のに、表現、表記を通して、2年の表現で表して、2年の表現で表したいで、2年次後記書を際に、自らの考えを表現する機を作る。 なが表現で表現で表現で表して、2年で学が表して、2年で学が表して、2年で学が表して、2年を表して、2年で学が表して、2年で表して、2年で学が表して、2年で学習が表して、2年でで、2年で学学が表して、2年で学が表して、2年で学が表して、2年で学が表して、2年で学が表しているが表しまれる。2年で表して、2年で学が表して、2年で学が表して、2年で学が表しているといないなどが表しているといるとないないないないないないないないないないないないないないないないない	教科		資質・能力を育成するための具体的取組
国語	国語	,	
を表現する力、相手の意図を理解し自分の考え や立幅を表現する方を養う。 主体的・対話的で深い学びの実現を目指した 投業改善を通し、社会的な見方・考え方を育て る。 国の学力調査では、思考・判断・表現に関する 問題の正若事が他の項目に比べて低いこと答 問題の正若事が他の項目に比べて低いことが 問題の正若事が他の項目に比べて低いことが とないて説明できるような力を備う。 自然事物・現象に対する興味間できるような力を着。 自然事物・現象に対する興味間できるような力を着。 自然事物・現象に対する興味間できるような力を着。 自然事物・現象に対する興味間できるような力を着。 自然事物・現象に対する興味間できるような力を着。 自然事物・現象に対する現場のと高め、表 被的な学力の定着を目指す。また、実験、観察を 行い、その結果を分析し解釈し表現できる力を身 に付ける。 主要の特徴を主体的に捉え。合唱や鑑賞等で 表現につなげる力を着に付ける。 主要の特徴を主体的に捉え。合唱や鑑賞等で 表現につなげる力を着い情である。自他の作 高のよさを思し取り、説明したりできるようにする。自他の作 高のよさを思し取り、説明したりできるようにする。自他の作 高のよさを思し取り、説明したりできるようにする。自他の作 高のよさを思し取り、説明したりできるようにする。自他の作 高のよさを思し取り、説明したりできるようにする。自他の作 はいても、主を思い取り、説明したりできるようにする。自他の作 はいてきることに関い、表現の説明を望して言語で説明する機会を単元ことに設ける。また、大学機会を製して表現に対したりできるようにする。とはいては、表現の説明を望して言語で説明する機会を単元ことに設ける。また、大学機会を製して表現に対して対したりまる。たる。とはいを活の実現や特局可能な社会の構築 は付けさせる。 な場度や体力に関心を持ち、主体的に誤 歴解験人していて力を考えら、 力はいを活を出して現ないに触れが表現をとな。新体カテストを基に自身の健康への 関心を高める。 よりよいを活を見まして、規範意識と協調性を身 は付けさせる。 な場度や体力に関心を持ち、主体的に誤 を確して行う運動を達して、規範意識と協調性を身 は付けさせる。 表現の説明を望して言語で説明やる機会を単元ことに設ける。また、仲間に対して技術的な認趣や有効な嫌罰を決める。 生徒自身に社会や生活の中にある技術に関心をたせ、製作、制 で、育成、実践、野、調査・研究などの実践的・体験的な 活動を通して、異なれに触れが、事を通して、と他の下のよまた体性監告領域 と使用していてきるとの主として、とを表の中のより、信仰でようを発していていくかることに気 付かせる学習が動き実践する。 生徒自身に社会や生活の自立でつながることに気 付かせる学習が動き実践する。 生徒自身に社会や生活の自立でつながることに気 付かせる学習が動き実践する。 生徒自身に社会や生活の中にある技術に関心を表せれ、影響を通して異なれた時間もして多年間通して学 はていて、多年の中ではないないまないないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないま		<u></u>	
せん会 と 中の 対話ので深い学びの実現を目指した			
接業改善を通し、社会的な見方・考え方を育てる。		<u></u>	
を受ける。。 する。深い学びのために、定期考査や小テストを行い、基礎学力の向上をはかる。	社会	主体的・対話的で深い学びの実現を目指した	毎授業において学習のねらいを明確にし,振り返りの機会を設け
あ。 ととはかる。		授業改善を通し,社会的な見方・考え方を育て	る。「社会的な見方・考え方」を働かせて,課題解決を図る場面を設定
要学 関題の正答率が他の項目に比べて低いこと皆 機会を設け、言語活動を充実させる。単元の振り返りで、既習事項を 整理させ、次の単元とのつながりを意識させる。 単元の振り返りで、既習事項を 整理させ、次の単元とのつながりを意識させる。 自然事物・現象に対する興味関心を高め、基 視聴覚数材を取り入れながら日常生活と学習事項との関わりを示し、自然事物・現象に対する興味関心を高める。観察・実験の機会を 増やし、結果に力なけるのと養う。特に歌唱活動において より良い作品を作り上げるようにする。 自衆の特徴を主体的に捉え、合唱や鑑賞等で 表現につなげるかを養う。特に歌唱活動において より良い作品を作り上げるようにする。 1 全頭や表現医図を明確にし、自分の表現に対 する考えを説明したりできるようにする。 2 をかずかを身に付ける。 ま一類で表現を図で明確にし、自分の表現に対 する考えを説明したりできるようにする。 2 を数で表現の匿を明確にし、自分の表現に対 する考えを説明したりできるようにする。 2 を数で表現を図を明確にし、自分の表現に対 する考えを説明したりできるようにする。 2 を数で表現を図を明確にし、自分の表現に対 する考えを説明したりできるようにする。 2 を数で表現を図を明確にし、自分の表現に対 する考えを説明したりできるようにする。 2 を数で表現の記述明を整理して言語で説明する機会を単元でとに設ける。ま 表現の説明を整理して言語で説明する機会を単元でとに設ける。ま 表現の説明を整理して言語で説明する機会を単元でとに設ける。ま 表現の説明を整理して言語で説明する機会を単元でとに設ける。ま 表現の説明を整理して言語で説明する機会を単元でとに設ける。ま 表現の説明を整理して言語で説明する機会を単元でとに設ける。ま 表現の説明を整理して言語で説明する機会を単元でとに設ける。ま 表現の説明を整理してき語で説明する機会を単元でとに設ける。ま 表現の説明を整理して言語で説明する機会を 2 では言語で説明する機会を 2 に付けさせる。 2 よりよい生活の実現や情効な練習方法の課題や有効な練習方法の選近がた で表に関いても対して技術的な課題や有効な練習方法の意とに気付かせる学習活動を実践する。 4 ののまの表にしていてある技術に関いをもたせ、製作、割して、2 に対して技術的な課題や有効な練習方法の意とたし、関心を書である。 2 に付けさせる。 2 生徒が実施を実践する。 2 に対して対したいで、2 に対していて、3 年本の中方点とも目指して3 年間通して準備していて、 2 年後が実施を発達の帯に、自らの考えを表現する機会を作る。間違いに気づき、修正しながら発信していく力を育にしている。 2 生徒が実施を発達の事にはしていている。 2 生徒が変と表によりもとを目指して3 年間通して準備していく。 2 生徒が変と表によりもとともに、本校の教育目標にあらながで、4 位のに深く考え議論する道徳を目指し、個別最適な学びと協同な学では、4 位のに深く考え議論する道徳を目指し、個別最適な学びと協同な学では、4 位ので変にありまりましまの。 2 生後が実施する。 2 年のでは、4 年ので、5 音に対していている。 2 生後が実施して、3 音に対している。 3 年のは、4 年ので、5 音に対している。 3 年のは、5		<b>ప</b> 。	する。深い学びのために,定期考査や小テストを行い,基礎学力の向
数学 問題の正答率が他の項目に比べて低いことを踏			上をはかる。
要生かして説明できるような力を養う。 自然事が「実象に対する興味関心を高め、基礎的な学力の定着を目指す。また、実験・観察をした。人の結果を分析し解釈し表現できる力を身に付ける。 音楽の特徴を生体的に捉え、合唱や鑑賞等で表現につなげる力を養う。特に歌唱活動においてより良い作品を作り上げるようこれまで学んだことを生かす力を身に付ける。 主題や表現意図を明確にし、自分の表現に対する考を難しようとするようにする。自他の作品のよさを感じ取り、説明したりできるようにする。自他の作品のよさを感じ取り、説明したりできるようにする。自他の作品のよさを感じ取り、説明したりできるようにする。自他の作品のよさを感じ取り、説明したりできるようにする。自他の作品のよさを感じ取り、説明したりできるようにする。と、表現の説明を整理して言語で説明する機会を単元ごとに設ける。また、表しましまうとする力を身に着けさせる。また、集団で行う運動を通して、規範意識と協調性を身に付けさせる。また、集団で行う運動を通して、規範意識と協調性を身に付けさせる。また、集団で行う運動を通して、規範意識と協調性を身に付けさせる。また、集団で行う運動を通して、規範意識と協調性を身に付けていて力を養う。と、「大き、表現に対して技術的な課題や有効な練習方法の選び方について指摘しあう環境をつくる。新体カケストを基に自身の健康への関心を高める。 まりよい生活の実現や特続可能な社会の構築に向けて、生活や社会の中から問題を見出し、課題を解決していく力を養う。 外国語 検験で、生活や社会の中から問題を見出し、課題を解決していく力を養う。 外国語 英語・通して異文化に触れ、物事を多面的・多類ので、選手を発起する際に、自らの考えを表現する機会を作る。間がなど、実質・機実や、生活や社会の中から問題を見出し、課題を解決していく力を養う。 生徒が美部を発話する際に、自らの考えを表現する機会を作る。間がなど、選手の対していく力を養う。 生徒が美部を発話する際に、自らの考えを表現する機会を作る。間がなど、選手を選を表して異文化に触れ、物事を多面的・多類を選に、習得した知識・技能が生活の自立につながることに気付かな学習活動を実践する。 生徒が美部を発話する際に、自らの考えを表現する機会を作る。間がでは、習得した知識・技能が生活の自立につながることに気付かる姿質に対して、実際、表演を発話する関心に対して、対していく力を身にありな学で、表述を表述を発話する選権を目指し、個別最適な学で、協同道に不知を表した。また、表述の教育の目標にありな学が、表述の表述を表述を表述された。また、表述の教育と明さ、もに関いを対していく力を身にあり、また、表述の教育を作るので発達を発見しないました。  「大きないる」とないるので、また、表述の教育を表述を表現する機能していく力を身にありな学ので、表述の表述を表述を表述を表現する機能を表述を表現する。また、表述の表述を表現を表現している。また、表述の表述を表現を表現している。また、表述の表述を表現している。また、表述の表述を表現している。また、表述の表述を表現している。また、表述を表述を表現している。また、表述を表述を表現している。また、表述を表述を表現している。また、表述を表述を表現を表現している。また、表述を表述を表述を表現している。また、表述を表述を表現している。また、表述を表述を表述を表述を表現している。また、表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表	数学	国の学力調査では,思考・判断・表現に関する	単元ごとに,説明する問題を設定し,既習事項を生かして説明する
要性でも、次の単元とのつなかりを意識でせる。 容生かして説明できるような力を養う。 自然事物・現象に対する興味関心を高め、基礎的な学力の定着を目指す。また、実験・観察を行い、その結果を分析し解釈し表現できる力を身に付ける。 音楽の特徴を主体的に捉え、合唱や鑑賞等で表現になが含力を養う、特に歌唱活動においてより良い作品を作り上げるようにする方ととと生かす力を身に付ける。 主題や表現意図を明確にし、自分の表現に対する考察を個人で考えて各班で共有してまとめさまり良い作品を作り上げるようにする。 主題や表現意図を明確にし、自分の表現に対する考察を個人で考えて各班で共有してまとめさませる。また、大園で作品を作り上げるようにする。 主題や表現意図を明確にし、自分の表現に対する考察を個人で考えを観明したりできるようにする。 を生かす力を身に付ける。 主題や表現意図を明確にし、自分の表現に対する考察を個人で考えを観明したりできるようにする。 を現の説明を整理して言語で説明する機会を単元ごとに設ける。ま現活動と意して、規約の進精による、より深い活動ができるようにする。 自身の健康や体力に関心を持ち、主体的に課題を解決していう方を身に着けさせる。また、集団で行う運動を通して、規範意識と協調性を身に付けさせる。 よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度や、生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度や、生活の実現や持続可能な社会の構築を使けていた。また、体間に対して技術的な課題や有効な練習方法の選び方について指摘しあう環境をつくる。新体カテストを基に自身の健康への関心をある。 よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度、実験、見学、調査・研究などの実践的・体験的ない態度や、生活の中で育成していて、3年次の医SAT-Jでは都の平均点よりも上を目指して3年間適して準備していく。 調本で明点ともこれ、本校の教育目標に「生命の学さ」、6・11・12月のふれるい月間に「生命の呼さ」、6・11・12月のふれるい月間に「場合の対しては他別最適な学びと協同をかいまりに向けて対象の帯活動で練習させ、苦手意識を取り除く。本校の下深える、議論する道徳を目指し、個別最適な学びと協同ながでの一体的な充実を実現する。4月の防災教育のロ・12月のいのちの教育月間に「生命の尊さ」、6・11・12月のふれるい月間に「生命の尊さ」、6・11・12月のふれるい月間に「場合の対して、12月ののいのものな充実を実現する。4月の防災教育の日・12月のいのちの教育目間に「生命の尊さ」、6・11・12月のふれるい月間に「場合のな異なる」、11・12月のふれるい月間に「場合の対した変を表現する。4月の防災教育の日・12月のいのちの教育目間に「生命の尊さ」、6・11・12月のふれるい月間に「思かの対しました。			
理科 理科 ・			整理させ,次の単元とのつながりを意識させる。
理科			
でい、その結果を分析し解釈し表現できる力を身に付ける。     音楽の特徴を主体的に捉え、合唱や鑑賞等で表現につなげる力を養う。特に歌唱活動においてより良い作品を作り上げるようにする。自他の作品のよさを感じ取り、説明したりできるようにする。自他の作品のよさを感じ取り、説明したりできるようにする。自他の作品のよさを感じ取り、説明したりできるようにする。自他の作品のよさを感じ取り、説明したりできるようにする。自他の作品のよさを感じ取り、説明したりできるようにする。自他の作品のよさを感じ取り、説明したりできるようにする。自他の作品のよさを感じ取り、説明したりできるようにする。自他の作品のよさを感じ取り、説明したりできるようにする。自他の作品のようで表現によるより深い活動ができるように対する。  「全様体育」を解決しようとする力を身に着けさせる。また、集団で行う運動を通して、規範意識と協調性を身に付けさせる。 はりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする方実的な態度を発していく力を養う。  「本のはて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度や、生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度や、生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度や、生活の中にある技術に関心をもたせ、製作、制作、育成、実習、観察・実験、見学、調査・研究などの実践的・体験的な活動を通して、習得した知識・技能が生活の自立につながることに気付かせる学習活動を実践する。  「本経・英語を通して異文化に触れ、物事を多面的・多単に向けて、生活を正しながら発信していく力を身につける。関く主体の単である形式を表現する機会を作る。間違いた、づき修正しながら発信していく力を身につける。関く活動で事が表もないまないが、発信していく力を身につける。関く活動で表現していく、主体的に深く考え議論する道徳を目指し、個別最適な学びと協同的な学びの一体的な充実を実現する。4月の防災教育の日・12月のいのちの教育月間に、生命の導さ」、6・11・12月のよれおい月間に「思いやり」「友情」「相互理解、寛容」、について道徳担当教員を中	理科		
音楽の特徴を主体的に捉え,合唱や鑑賞等で表現につなげる力を養う。特に歌唱活動において表り良い作品を作り上げるようこれまで学んだことを生かす力を身に付ける。 主題や表現意図を明確にし、自分の表現に対する考えを説明したりできるようにする。自他の作品のよさを感じ取り,説明したりできるようにする。 自身の健康や体力に関心を持ち、主体的に課題を解決しようとする。方に付けさる。 まりない生活の変更が表現の変更が表現の変更が表現の変更が表現の変更が表現の変更を認明したりできるようにする。 自身の健康や体力に関心を持ち、主体的に課題を解決しようとする力を身に着けさせる。また、鑑賞活動の通統による、より深い活動ができるようにする。 はりよい生活の実現や特続可能な社会の構築に付けさせる。 よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度や、生活を社会の中から問題を見出し、課題を解決していく力を養う。 大調を解決していく力を養う。 要を解決していく力を養う、要を変更して、規範を強して、規範を強した対して対して技術的な課題や有効な練習方法の選び方について指摘しあう環境をつくる。新体カテストを基に自身の健康への関心を高める。 よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度や、生活を対会の中から問題を見出し、課題を解決していく力を養う。 要を解決していく力を養う。 生徒自身に社会や生活の中にある技術に関心をもたせ、製作、制作、育成、実習、観察・実験、見学、調査・研究などの実践的・体験的な活動を順大して、選を解決していく力を養う。 生徒が英語を発試する際に、自らの考えを表現する機会を作る。間違いに気づき、修正しながら発信していく力を身につける。間で、話す・読む・書く、4技能をバランスよく取り入れえた課題やパフォーマンステストを実施する際に、自らの考えを表現する機会を作る。間違いに気づき、修正しながら発信していく力を身につける。間く・話す・読む・事く、4技能をバランスよく取り入れえた課題やパフォーマンステストを実施する。ESAT-Jに向けて授業の帯活動で練習では協同的な学びの一体的な充実を実現する。4 月の防災教育の日・12月のいのちの教育月間に「生命の尊さ」、6・11・12月のふれあい月間に「鬼のや違、5 4、1 11 12月のふれあい月間に「鬼の尊さ」、6・11・12月のふれわい月間に「鬼のやりょうな情に関いなり」、6・11・12月のふれれい月間に「鬼のやりょうな情に関いなり」、6・11・12月のふれあい月間に「鬼のの事育月間に「生命の尊さ」、6・11・12月のふれわい月間に「鬼のやりょうな情にある。 すな情に関いなりまなな変更ななが、4 2 3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			
音楽の特徴を主体的に捉え,合唱や鑑賞等で表現につなげる力を養う。特に歌唱活動においてより良い作品を作り上げるようにれまで学んだことを歌唱・器楽に生かし、更に音楽への興味を深めさせ、基本となる音楽的諸要素と表現活動のつながりに「気付く力」を育成する。そこで学んだことを歌唱・器楽に生かし、更に音楽への興味を深めさせる。 主題や表現意図を明確にし、自分の表現に対する考えを説明したりできるようにする。自身の健康や体力に関心を持ち、主体的に課題を解決したりできるようにする。 自身の健康や体力に関心を持ち、主体的に課題を解決したりできるようにする。 自身の健康や体力に関心を持ち、主体的に課題を解決したりとする力を身に着けさせる。また、集団で行う運動を通して、規範意識と協調性を身に付けさせる。 よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度や、生活や社会の中から問題を見出し、課題を解決していく力を養う。 生徒自身に社会や生活の中にある技術に関心をもたせ、製作、制作、育成、実習、観察・実験、見学、調査・研究などの実践的・体験的な悲度や、生活や社会の中から問題を見出し、課題を解決していく力を養う。 生徒が英語を発話する際に、自らの考えを表現する機会を作る。間、角的にとらえる能力を育成する。また4技能5領域を授業の中で育成していく。3年次のESAT-Jでは都の平均点よりも上を目指して3年間通して準備していく。 調布市の重点項目である「生命尊重」の態度を身に付けさせるとともに、本校の教育目標にあずら、体正しながら発信していく力を身につける。聞く話す・読む・書く、4技能をパランスよく取り入れえた課題やパフォーマンステストを実施する。ESAT-Jに向けて授業の帯活動で練習させ、苦手意識を取り除く。本校の平均点15点を3年間かけて16点にあげていく。 主体的に深く考え議論する道徳を目指し、個別最適な学びと協同的な学びの一体的な充実を実現する。4月の防災教育の日・12月のいのちの教育月間に「生命の尊さ」、6・11・12月のふれあい月間に「思いやり」「友情」「相互理解、寛容」、について道徳担当教員を中			
音楽 表現につなげる力を養う。特に歌唱活動において より良い作品を作り上げるようこれまで学んだこと を生かす力を身に付ける。 主題や表現意図を明確にし、自分の表現に対 する考えを説明したりできるようにする。自他の作品のよさを感じ取り、説明したりできるようにする。 表現の説明を整理して言語で説明する機会を単元ごとに設ける。また、鑑賞活動の充実を図り、色々な作品のよさに触れさせる機会を設ける。表現活動と鑑賞活動の連続による、より深い活動ができるようにする。 自身の健康や体力に関心を持ち、主体的に課題を解決しようとする力を身に着けさせる。また、集団で行う運動を通して、規範意識と協調性を身に付けさせる。 よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度や、生活を社会の中から問題を見出し、課題を解決していく力を養う。 大き記して異文化に触れ、物事を多面的・多角的にとらえる能力を育成する。また4技能5領域を授業の中で育成していく。3年次のESATー」では都の平均点よりも上を目指して3年間通して準備していく。3年次のESATー」では都の平均点よりも上を目指して3年間通して準備していく。3年次の医SATー」では都の平均点よりも上を目指して3年間通して準備していく。3年次の医SATー」では都の平均点よりも上を目指して3年間通して準備していく方と表現するとSATー」に向けて授業の帯活動で練習させ、苦手意意を別け除く本校の平均点に与えるが活動で練習させ、苦手意意を別け除く本校の平均点に与える事間かけて16点にあけていく。 調布市の重点項目である「生命尊重」の態度を身に付けさせるとともに、本校の教育目標にある「礼命を重んじ、思いやりのある人」を育成する。 と他的に深く考え議論する遺徳を目指し、個別最適な学びと協同的な学びの一体的な充実を実現する。4月の防災教育の日・12月のいのちの教育月間に「生命の尊さ」、6・11・12月のふれあい月間に「思いやり」「友情」「相互理解、寛容」、について道徳担当教員を中			
はり良い作品を作り上げるようこれまで学んだことを歌唱・器楽に生かし、更に音楽への興味を深めさせる。     主題や表現意図を明確にし、自分の表現に対する考えを説明したりできるようにする。自他の作品のよさを感じ取り、説明したりできるようにする。     自身の健康や体力に関心を持ち、主体的に課題を解決しようとする力を身に着けさせる。また、集団で行う運動を通して、規範意識と協調性を身に付けさせる。     よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度や、生活や社会の中から問題を見出し、課題を解決していく力を養っ。     大子・	音楽		
を生かす力を身に付ける。     主題や表現意図を明確にし、自分の表現に対する考えを説明したりできるようにする。自他の作品のよさを感じ取り、説明したりできるようにする。			
美術  主題や表現意図を明確にし、自分の表現に対する考えを説明したりできるようにする。自他の作品のよさを感じ取り、説明したりできるようにする。 自身の健康や体力に関心を持ち、主体的に課題を解決しようとする力を身に着けさせる。また、集団で行う運動を通して、規範意識と協調性を身に付けさせる。  よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度や、生活や社会の中から問題を見出し、課題を解決していく力を養う。  外国語 (英語)  外国語 (英語)  が国語 (英語)  道徳科  主題や表現意図を明確にし、自分の表現に対する。と現の説明を整理して言語で説明する機会を単元ごとに設ける。また、機質 (当の必有に関心を持ち、主体的に課題を解決していく力を養う。とは、人間である。とは、人間では、大きなどの実践的な態度や、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度や、生活や社会の中から問題を見出し、課題を解決していく力を養う。  本程に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度や、生活では、大きをである。  本程に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的ないでもありを表現する機会を作る。間はいて、会話が表記を受ける。また、特能の平均点といて、会話が表記を発話する際に、自らの考えを表現する機会を作る。間違いに気づき、修正しながら発信していく力を身につける。聞く・話す・読む・書く、人技能をパランスよく取り入れえた課題やパフォーマンステスト支に向けて授業の帯活動で練習させ、苦手意識を取り除く。本校の平均点15点を3年間かけて16点にあげていく。  連いた気できるにいく力を身につける。関いに気できるにいく力を身につける。間ないて気で表にしていく力を身につける。間ないて気で表にしていく力を見につける。関いに気で表に表していく力を表にしていく力を見にしていく力を見にしていく力を表していく力を見にしていく力を見にしていく力を表していく力を表していく力を表現する。と名が表記を表現する。と名が表記を表現する。と名が表記を表現する。と名が表記を表現する。と名が表記を表現する。と名が表記を表現する。と名が表記を表現する。と名が表記を表現する。と名が表記を表現する。と名が表記を表現する。と表現で表現する。と表現で表現する。と表現で表現を表現されていくので表現されていく。また、特別で表現で表現を表現されている。また、体的にで気で表現で表現である。また、体的にで気で表現である。とは、表現で表現である。と述が表現されている。また、表現で表現で表現である。また、体的にで気で表現を表現されている。また、体的にで気で表現で表現で表現で表現である。また、体的にで気で表現で表現で表現で表現で表現である。また、体的によれていると思いといる。と述れていると表現である。また、体的に表現で表現で表現で表現である。また、体的によれている。と述れている。と述れている。と述れている。また、表現で表現である。また、表現で表現で表現である。また。と述れている。また、表現で表現で表現である。また。と述れている。また、表現で表現で表現である。また。と述れている。また、表現で表現で表現で表現で表現である。また。と述れている。また、表現で表現で表現である。また。表現で表現で表現で表現である。また。また。また、表現で表現で表現である。また。また。また。また。また。また。また。また。また。また。また。また。また。			
美術 する考えを説明したりできるようにする。自他の作品のよさを感じ取り、説明したりできるようにする。 た、鑑賞活動の充実を図り、色々な作品のよさに触れさせる機会を設ける。表現活動と鑑賞活動の連続による、より深い活動ができるようにする。 自身の健康や体力に関心を持ち、主体的に課題を解決しようとする力を身に着けさせる。また、集団で行う運動を通して、規範意識と協調性を身に付けさせる。 よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度や、生活や社会の中から問題を見出し、課題を解決していく力を養う。 英語を通して異文化に触れ、物事を多面的・多角的にとらえる能力を育成する。また4技能5領域を授業の中で育成していく。3年次のESAT-Jでは都の平均点よりも上を目指して3年間通して準備していく。 調布市の重点項目である「生命尊重」の態度を身に付けさせるとともに、本校の教育目標にある「礼節を重んじ、思いやりのある人」を育成する。 「主体的に深く考え議論する道徳を目指し、個別最適な学びと協同的な学びの一体的な充実を実現する。4月の防災教育の日・12月のいのちの教育月間に「生命の尊さ」、6・11・12月のふれあい月間に「思いやり」「友情」「相互理解、寛容」、について道徳担当教員を中	美術		
はる。表現活動と鑑賞活動の連続による。より深い活動ができるようにする。 自身の健康や体力に関心を持ち、主体的に課題を解決しようとする力を身に着けさせる。また、集団で行う運動を通して、規範意識と協調性を身に付けさせる。 よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度や、生活や社会の中から問題を見出し、課題を解決していく力を養う。 外国語(英語) 外国語(英語) がおいて、実話を追して、規範を調整を関連を表します。とは、大きに関する。また、中間に対して技術的な課題や有効な練習方法の選び方について指摘しあう環境をつくる。新体カテストを基に自身の健康への関心を高める。 生徒自身に社会や生活の中にある技術に関心をもたせ、製作、制作、育成、実習、観察・実験、見学、調査・研究などの実践的・体験的な活動を解決していく力を養う。 英語を通して異文化に触れ、物事を多面的・多角的にとらえる能力を育成する。また4技能5領域を授業の中で育成していく。3年次のESAT-Jでは都の平均点よりも上を目指して3年間通して準備していく。3年次のESAT-Jでは都の平均点よりも上を目指して3年間通して準備していく。3年次のをSAT-Jでは都の平均点よりも上を目指して3年間通して準備していく。 調布市の重点項目である「生命尊重」の態度を身に付けさせるとともに、本校の教育目標にある「礼節を重んじ、思いやりのある人」を育成する。 道徳科 道徳科  「礼節を重んじ、思いやりのある人」を育成する。 「礼節を重んじ、思いやりのある人」を育成する。 「礼節を重んじ、思いやりのある人」を育成する。 「礼節を重んじ、思いやりのある人」を育成する。 「礼節を重んじ、思いやりのある人」を育成する。		する考えを説明したりできるようにする。自他の作	た,鑑賞活動の充実を図り,色々な作品のよさに触れさせる機会を設
保健体育 自身の健康や体力に関心を持ち、主体的に課題を解決しようとする力を身に着けさせる。また、集団で行う運動を通して、規範意識と協調性を身に付けさせる。 はりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度や、生活や社会の中から問題を見出し、課題を解決していく力を養う。 外国語(英語) 外国語(英語) 道徳科 道徳科 自身の健康や体力に関心を持ち、主体的に課題を解決して、規範意識と協調性を身に付けさせる。 はりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度や、生活や社会の中から問題を見出し、課題を解決していく力を養う。 英語を通して異文化に触れ、物事を多面的・多角的にとらえる能力を育成する。また4技能5領域を授業の中で育成していく。3年次のESAT-Jでは都の平均点よりも上を目指して3年間通して準備していく。 調布市の重点項目である「生命尊重」の態度を身に付けさせるとともに、本校の教育目標にある「礼節を重んじ、思いやりのある人」を育成する。 立体的に深く考え議論する道徳を目指し、個別最適な学びと協同的な学びの一体的な充実を実現する。4月の防災教育の日・12月のいのちの教育月間に「生命の尊さ」、6・11・12月のふれあい月間に「思いやり」「友情」「相互理解、寛容」、について道徳担当教員を中		品のよさを感じ取り,説明したりできるようにする。	ける。表現活動と鑑賞活動の連続による,より深い活動ができるように
保健体育 題を解決しようとする力を身に着けさせる。また、集団で行う運動を通して、規範意識と協調性を身に付けさせる。			する。
保健体育 集団で行う運動を通して、規範意識と協調性を身に付けさせる。	保健体育	自身の健康や体力に関心を持ち,主体的に課	健康・安全を第一に考え,準備運動・補強運動に取り組む環境をつ
集団て行つ連動を通して、規範意識と協調性を身に付けさせる。 関心を高める。		題を解決しようとする力を身に着けさせる。また、	くる。また,仲間に対して技術的な課題や有効な練習方法の選び方に
大術・家庭 よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築 に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的 な態度や、生活や社会の中から問題を見出し、課題を解決していく力を養う。		集団で行う運動を通して,規範意識と協調性を身	ついて指摘しあう環境をつくる。新体カテストを基に自身の健康への
技術・家庭 に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的 な態度や、生活や社会の中から問題を見出し、課題を解決していく力を養う。 英語を通して異文化に触れ、物事を多面的・多角的にとらえる能力を育成する。また4技能5領域を授業の中で育成していく。3年次の ESAT-Jでは都の平均点よりも上を目指して3年間通して準備していく。 調布市の重点項目である「生命尊重」の態度を身に付けさせるとともに、本校の教育目標にある「礼節を重んじ、思いやりのある人」を育成する。 道徳科 道徳科 に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的 作、育成、実習、観察・実験、見学、調査・研究などの実践的・体験的な活動を通して、習得した知識・技能が生活の自立につながることに気付かせる学習活動を実践する。 生徒が英語を発話する際に、自らの考えを表現する機会を作る。間違いに気づき、修正しながら発信していく力を身につける。聞く・話す・読む・書く、4技能をバランスよく取り入れえた課題やパフォーマンステストを実施する。ESAT-Jに向けて授業の帯活動で練習させ、苦手意識を取り除く。本校の平均点15点を3年間かけて16点にあげていく。 主体的に深く考え議論する道徳を目指し、個別最適な学びと協同的な学びの一体的な充実を実現する。4月の防災教育の日・12月のいのちの教育月間に「生命の尊さ」、6・11・12月のふれあい月間に「思いやり」「友情」「相互理解、寛容」、について道徳担当教員を中		に付けさせる。	関心を高める。
技術・家庭 な態度や、生活や社会の中から問題を見出し、課題を解決していく力を養う。	技術·家庭		
な態度や、生活や社会の甲から問題を見出し、課題を解決していく力を養う。			
英語を通して異文化に触れ、物事を多面的・多 角的にとらえる能力を育成する。また4技能5領域 を授業の中で育成していく。3年次の ESAT-J では都の平均点よりも上を目指して3年間通して準備していく。 調布市の重点項目である「生命尊重」の態度を身に付けさせるとともに、本校の教育目標にある「礼節を重んじ、思いやりのある人」を育成する。 はが英語を発話する際に、自らの考えを表現する機会を作る。間違いに気づき、修正しながら発信していく力を身につける。聞く・話す・読む・書く、4技能をバランスよく取り入れえた課題やパフォーマンステストを実施する。ESAT-J に向けて授業の帯活動で練習させ、苦手意識を取り除く。本校の平均点15点を3年間かけて16点にあげていく。 主体的に深く考え議論する道徳を目指し、個別最適な学びと協同的な学びの一体的な充実を実現する。4月の防災教育の日・12月のいのちの教育月間に「生命の尊さ」、6・11・12月のふれあい月間に「思いやり」「友情」「相互理解、寛容」、について道徳担当教員を中			
外国語 (英語) 角的にとらえる能力を育成する。また4技能5領域 を授業の中で育成していく。3年次の ESAT-J で は都の平均点よりも上を目指して3年間通して準 備していく。 調布市の重点項目である「生命尊重」の態度 を身に付けさせるとともに、本校の教育目標にある「礼節を重んじ、思いやりのある人」を育成する。 第二人を実施する。をSAT-J に向けて授業の帯活動で練習させ、苦手意 識を取り除く。本校の平均点15点を3年間かけて16点にあげていく。 主体的に深く考え議論する道徳を目指し、個別最適な学びと協同 的な学びの一体的な充実を実現する。4 月の防災教育の日・12月の いのちの教育月間に「生命の尊さ」、6・11・12月のふれあい月間に 「思いやり」「友情」「相互理解、寛容」、について道徳担当教員を中			
外国語 (英語) を授業の中で育成していく。3年次の ESAT-J では都の平均点よりも上を目指して3年間通して準備していく。 満む・書く、4技能をバランスよく取り入れえた課題やパフォーマンステストを実施する。ESAT-J に向けて授業の帯活動で練習させ、苦手意識を取り除く。本校の平均点15点を3年間かけて16点にあげていく。 調布市の重点項目である「生命尊重」の態度を身に付けさせるとともに、本校の教育目標にある「礼節を重んじ、思いやりのある人」を育成する。 にのちの教育月間に「生命の尊さ」、6・11・12月のふれあい月間に「思いやり」「友情」「相互理解、寛容」、について道徳担当教員を中		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
(英語) は都の平均点よりも上を目指して3年間通して準			
横していく。			
調布市の重点項目である「生命尊重」の態度 を身に付けさせるとともに、本校の教育目標にあ る「礼節を重んじ、思いやりのある人」を育成する。 がのちの教育月間に「生命の尊さ」、6・11・12月のふれあい月間に 「思いやり」「友情」「相互理解、寛容」、について道徳担当教員を中			
を身に付けさせるとともに、本校の教育目標にあ 道徳科 る「礼節を重んじ、思いやりのある人」を育成する。 いのちの教育月間に「生命の尊さ」、6・11・12月のふれあい月間に 「思いやり」「友情」「相互理解、寛容」、について道徳担当教員を中	道德科	114 = 1 70	
道徳科 る「礼節を重んじ,思いやりのある人」を育成する。 いのちの教育月間に「生命の尊さ」,6・11・12月のふれあい月間に 「思いやり」「友情」「相互理解,寛容」,について道徳担当教員を中			
「思いやり」「友情」「相互理解,寛容」,について道徳担当教員を中		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	